

第10回 まるごとけんこうフェアに参加してきました！



10月9日(日)、郡山市保健所にて第10回まるごとけんこうフェアが開催されました。その中で鍼灸の啓発活動を行ってきましたのでご報告いたします。

あいにくの天気でしたが、朝10時前から健康に関心の高い市民の方々が多数来場されており、はりきゅう体験コーナーがある4階も開始前から混雑していました。郡山市内在住の先生方が中心となって準備が進められていきます。

フェア開催にさきがけて、喜久田小学校マーチングバンドの皆さんによる演奏がありました。演奏するには少し狭めの会場でしたが、バンドメンバーの皆さんは多くの聴衆を盛り上げていました。野球場のグラウンドで隊列を組んで演奏する形をイメージしておりましたが、今回はそのような形ではなく、何かの物語をもとに演奏しているようでした(会場が凄い人でしたので、ゆっくり鑑賞することができませんでした。準備もありましたし…)



10時30分の開始と共に4台のベッドは一瞬で埋まり、受付兼待合スペースに14脚用意した椅子も常に一杯の状況。ありがたいことですね。

今回は50人限定の整理券を配布しました。これにより体験希望者は早い者勝ちの心理が働くことなく余裕を持って受付をすることができ、施術者は整理券とカルテの数を照らし合わせ、未受療の人数を把握することができ、落ち着いて施術ができました。



受付を済ませた体験希望者の皆さんが持て余さないよう、積極的に話しかけて問診を行ったり、その場で可能なツボ刺激や体操等を行いました。せんねん灸もその一つで、お身体の状態に合わせたツボを選び、体験していただきました。お灸が初めての方もたくさんいらっしゃいましたが皆さん興味津々で、「思ったほど熱くなかった」「香りが良い」等、最初の不安は消えたようで心地よさそうにお灸を受けていらっしゃいました。



はりきゅう体験コーナーを担当して下さった、まるごとけんこう財団のスタッフの方(中央、ピンクのポロシャツの女性)。対応がとても丁寧且つ私たちが活動しやすいよう素晴らしいフォローをして下さいました。待合スペースの椅子に番号を書いた紙を貼る、体験希望者の皆さんを誘導する、「何か足りないことはないですか?」と常に私たちのことを気遣って下さいました。最後は外にお見送りまでしていただき、逆に恐縮してしまいました。

お昼を食べる時間もなく盛況の内に終了した体験コーナー。後列左から太田友理香先生、白井和弥先生、吉見出先生、田中宏明先生、遠藤賢一先生、米倉良平先生、前列左から眞弓寿世先生、小沼慎介先生、鈴木暢弘先生、以上9名で活動いたしました。事前に打ち合わせをしていないのに手の空いている者が受付をし、ベッドを整え、お帰りになる体験者に声を掛ける。当たり前なのが自然にできるチームワークは福鍼会だからこそですね!



今回は「はりきゅう体験」ということで、純粋に「はりきゅうってどうなの?」という方が来場されました。つまり、はりきゅうに多少の不安はあるものの、受ける気満々の濃い方々が集まったということです。したがって導入が非常にスムーズで、施術は短時間ですが信頼関係も築きやすくお互いが気分良くいられました。体験コーナーは治療院や職場とは異なる限られた環境。しかも短時間という縛りの中での施術です。普段の基礎ができているからこそ臨機応変に対応できるのだと思いますし、またこういう場は訓練になると思います。日曜日ということで休息や診療で参加できない先生方が多いと思いますが、こうした活動から得られる経験値は必ず自身の糧になります。見込み患者さんを治療院に誘導できれば、アイドルタイムの解消につながるかもしれません。来年は皆さんも参加してみませんか? あっという間ですが濃い時間を過ごせますよ!

